

自生 ヤマアジサイの育て方 (原則として鉢栽培) 2018年改訂版

花言葉は「移り気」「乙女の愛」「無情」

花の美しさは十分な水やりとたっぷりの光線、風通しによって生まれる。

梅雨空に鮮やかな花色を見せてくれるあじさいは降る雨に閉ざされがちな人の心に、和みと潤いを与えてくれます。楚々として咲き、なんとなく寂しげで侘びさびの、世界であり茶人の趣味に適合します。変幻の花であり鎮魂の花であり薄明の花でもあります。故に夜明け方や夕暮れのひと時に見るのが最も美しい。

ヤマアジサイは山地性で標高1200mを頂点にやや湿った半日蔭の地を好み谷沿いの林床や林縁、川筋に多く自生する。(これらの温度差や環境が育苗上の課題であります。)

ガクアジサイ

房総半島 三浦半島 伊豆半島の沿岸部 伊豆諸島に自生し浜アジサイとも呼ばれる

大型の品種です。西洋アジサイの主要な母種となり性質も強く、一般の家庭に植えられているのはこの種類です。

ヤマアジサイ

関東以西の本州、四国、九州に自生し平地よりも高地を好み海拔500m~1200m

の沢筋にて自生の大群落が見られるところもあります。ガクアジサイ、エゾアジサイと比較して小型で花の色や形の変化が多種多様で最も変異の幅が広い種類です。

エゾアジサイ

東日本の日本海側、東北地方を中心とした積雪地帯に自生しています。透明感のある

青色の花に特徴があります。

花ふたつ 紫陽花青き 月夜かな “泉鏡花

年間スケジュール

● 1月 寒肥施肥	● 3月 植え替え、芽吹き	● 4月 花芽出る	● 5月 開花。挿し芽
● 6月 剪定、お礼肥え	● 6月—9月 遮光	● 12月 休眠期	

肥料は固形油粕ですが限定したものではありません。

☆水やりが命

- 夏は 朝夕2回(6~9月)
春、秋は1日1回 冬は2日に1回
注意1 冬は葉が枯れ落ちます。でも枯れません。水をやってください。
- 風の強い日は特に乾きます水やりを忘れずに
- アジサイは水の器といわれるほど水分が必要です。 注意2 水枯れしても葉は枯れますが根は枯れて居ません。引き続き水やりをしてください。
- 盛夏期に水不足だと二次枝の成長がわるく開花せず。
- 用土に鹿沼土が多いことから、土の色が変わったら水やり時です。
- 普段から鉢を持ちあげて重さの感覚を覚えておくとう便利です。

☆置き場所

- 半日蔭といわれますが決してそうではありません。
- 春、秋にしっかり日光を当てないと花芽がつかず又、花に元気がありません。
- 7月~9月中旬までは簾、や遮光ネット直射日光をさけてください。
- 西日はアジサイを弱くします。葉が茶色に変色。

☆耐寒性

- ある程度耐寒性はありますが冬季の寒風にさらされると花芽を傷つけることもありなので庭木の間や北風や北西風の当たらない場所に変えると良いでしょう。

ヤマアジサイの植え替え

① 植え替えの準備

2月に名札の点検をする。名札は裏、表記入する。植え替え日も記録する。
2月中旬に土づくりをしておく。土の購入も忘れずに。鉢底の石。ネットも

② 天候について

土が乾いているほうが作業が早い。晴の日が3日以上続いた日が良い。

③ 鉢の確認をしておくこと（在庫）基本的には駄温鉢深鉢5号、又は4・5号です 鉢を大きくすれば根が張る。根が張れば木が大きくなる。また小さな鉢にすると、 花が咲かない。（参考に）根から鉢までの間隔が1cm～2cm位が適当です。

④ 土の配合について

青色の花は酸性、赤色の花はアルカリ性です。

濃い青—硬質鹿沼土3、砂1、ピートモス1（無調整）

赤色は腐葉土を多く石灰やパーミキュライト等をその他の色—鹿沼土3、腐葉土1、砂1
土の混合は人によってそれぞれです。赤玉を入れる人もいます。

但しクレナイの赤は太陽光によって色着きます。

⑤ 植え替えの時期

3月上旬です。日照時間が伸びて芽吹く時が一番元気で頑張れるときです。3月の植え替えは
終わって元の位置に戻してよいです。少数であればいつでもいいです。（花後、秋口）

但し 夏の植え替えは、数日半日影が必要です。また夏の湿気や暑さは花後疲れているため注
意が必要です。（この時に暖効性肥料大粒4～5粒入れればよいでしょう。）（どうしても時間の
ない方は鉢の表面、1cm位の汚れた部分だけでも取り換えれば随分違います。）

⑥ 実践について

古い土をほどほどに落としてください。

2年以上になると結構土が硬く時間がかかります。

すごく根が張っているようなのは少し根を切ります。あまり強く切らない事
根元に小さな葉芽が出ます。ほどほどに切ってください葉芽が「ひこばえ」沢山
出ると木が疲れているといわれます。

土は鉢一杯にいれないでください。ウオータースペースを開けて下さい。

⑦ 植え替えの後、水はすぐに抜けていきます。しっかりと水やりをしましょう。

⑧ 私からの一言

きれいでない花もある日、あるとききれいに咲くことがあります。

すごくきれいな花で心に残っている花が、その後きれいに咲かずがっかりすること
も。どんな時でも 花に愛情を持ちましょう。

○ 日陰でアジサイを育てますと、葉は青々と元気ですが花が来ません。植え替えをしても
根が少なく衰えています。

○ 日当たりの良いところで育てますと木はそれほど大きくならず、花付きもいいです。
そして根もしっかりと張っています。但し水やりは大変です。このことはそう背丈
を伸ばさなくても太陽光を手にする事が出来ます。

○ ビニールポットでの管理や栽培は限界があります。多分2年が限界でしょう。
枝が細く花付きが悪いですね。俗に云うひよろひよろ苗です。

○ 名札は必ずつけましょう。日付や裏表記入もしましょう。

ヤマアジサイの挿し芽の仕方 楽しい、楽しい挿し芽！

① 挿してからいつ開花しますか。 基本的には2年です。

1年で開花しても一輪か二輪です。そしていつまでも咲かせていると若木なので木が弱り翌年開花しないか枯れることがあります。苗木業者は肥料たっぷりの水耕栽培と温度管理で（温室等）咲かせるので、翌年は咲かない、または枯れることもある。

② いつ頃挿し芽をするのか

花後です、そして緑枝が硬くなった時（5月～6月初旬）

③ 挿し穂の作り方

- 頂芽挿しと二葉挿し⇒挿し芽用の伸びた茎は必ず二芽となるように切る。
- 挿し穂は背を高くしないように、風に揺れると根が定まらない。
- 葉は少なく小さくカットする。水分蒸発を防ぐ。
- 木の切り口は斜めカット、断面を大きくして水あげをよくする。
- ビニールポット4. 5cmのポットに4～5本挿す。
- 挿し穂は3～4時間水につけ水揚げに慣らす。（なおメネデールを入れると良い）
- 挿し穂の成功は100%ではありません。（含む、鉢あげ、小分け）3割のロス

④ 挿す穂の土

- 硬質鹿沼土小粒が良い「単用」水はけがよく硬く締まる。
- 挿した時固く押さえ根が動かないように。また垂直に挿す。発根剤ルートン塗布

⑤ 挿し芽の肥料

- 挿し芽後1ヶ月は水のみ。肥料はやらない。（肥料負けする）（2ヶ月経過後は良い）

⑥ 置き場所

最初から1～2時間日当たりの良いところ、かつ風通しの良いところ

日差しなし風なしは一週間で枯れる。

⑦ 管理 根がしっかりするまでは触れない、根が動いて発根活着しないから

この時期だけはポットやトレイも振動させない注意

⑧ 株わけについて（含む一輪だけでも）

1つのポットに数本挿す場合小分けする必要があります。

これをやらないと大きくは育たない。9月以降か翌年3月にする方が安全

☆剪定作業

- 花後すみやか に行う。6月末までに（ただしガク系は7月末）
- 株元すっきり3本～5本ぐらい（1本立ちという剪定の方法もあります）
- 上から 2節または3節で切る（普通の剪定）。
- 株元から出る新芽は1～2本を残しあとは切る（新芽を多く残すとそこに勢力をとられ活力を失う）
- ねじれ枝や枝垂れ枝こそアジサイの美です（注意 小さな苗は剪定すると枯れることがあります）

☆その他

- 花柄摘みをしていますか
- 花の命は装飾花が裏返しか花色が悪くなったら終わりです。
- 花の名前は花のイメージを適格に表しています。例えば、絞（しぼり）、緋（かすり）等
- 富士山系は白を中心にした花です。

☆開花時期☆コガク系=5月10日頃より☆ヤマアジサイ=5月20日頃より☆ガクアジサイ=6月中

☆花の咲き方 ●花弁の形 丸弁（おとなしく優しい感じ）=濃紫 富士の滝

剣弁（すっきりした爽快感）=木沢の光 普賢の華

角弁（力強さと優美さ）=紫変化 深山八重紫

ヘラ弁（杓子型の親しみやすさ）=みやび 剣の舞

ナデシコ弁（清楚で可愛らしさ）=ナデシコ

●花に絞りや緋が入る

井内緋 伊予緋 伊予絞り 伊予の青緋 四万十旅情 唐津 京絞り 写楽 椿原美人
入野絞り 小町絞り 酔湖の緋 津江の絞り 土佐緋 土佐絞り 肥後絞り

ヤマアジサイ苗を購入された皆様へ

お買い求め有難うございます。

購入苗はそのまま来年春まで半日影等の場所に保管し水やりを忘れずに。春3月に鉢に植え替えて下さい。



挿し芽の図 ① 頂芽挿し ② 双葉挿し

剪定の図 花のすぐ下葉芽はない

鎌倉アジサイ同好会概要	
設立	2000 年
会員鎌数	2018 年現在 44 名
会の目的	ヤマアジサイの花を愛で、育てる喜びを味わい健康的で幸せな人生を楽しむ 会員相互の交流とお客さまとの出会い、ふれあいを通じて社会に貢献する
主たる活動	大船フラワーセンターにて 1 週間の展示会 後援 鎌倉市
	2018 年の展示会出展会員 41 名、作品点数 3 5 4 鉢
	2017 年展示会来場者 6974 人

本レジメは製作者の経験と諸冊子から作成したのですが、挿し芽の仕方や、土の配合等各々、栽培家、趣味家によって異なりこれが正解というものではありません。

鎌倉アジサイ同好会 平成31年3月作成